



The Federation of Japan Amateur Orchestras Corp.

発行所:(社)日本アマチュアオーケストラ連盟
発行責任者:森下 元康

〒441 8028 豊橋市立花町46 光陽ビル3F
電話(0532)33 6885 FAX(0532)33 6875
e-mail:info@jao.or.jp http://www.jao.or.jp/



vol.46

第12回通常理事会・総会開催 平成13年収支予算、新年度役員などを決議 平成15年度の全国フェスティバルは横浜で

社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟の第12回通常理事会および通常総会は2月24日(土)、東京上野の精養軒にて開催された。午後1時30分より開かれた理事会では、総会に上程する案件と、新規加入団体の承認が討議された。午後3時から開催された総会には全国から70団体の代表者が出席し(他に61団体が委任状を提出)、定款に基づき神野信郎会長が議長となり、次の議案

1. 平成12年度補正予算案について
2. 平成13年度事業計画並びに収支予算案について
3. 任期満了に伴う役員改選について
4. 第31回全国アマチュアオーケストラフェスティバル(平成15年)開催地について

が審議され、原案通り承認可決された。(2号議案と3号議案は別掲)

平成15年(2003年)に開催予定の全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催地は横浜交響楽団の主管により横浜で開かれることが決定した。神奈川県で開催されるのは初めて。

決議事項の審議終了後は、報告事項に移り、新規加入団体3団体の紹介(これにて正会員数は160団体となった)夏に開催される全国フェスティバル名古屋大会の状況などが説明された。

なお総会後に開かれた臨時理事会において、会長、副会長、理事長、副理事長が互選され、次のように決まった。(いずれも再任)

会長:神野 信郎
副会長:村上 正治
理事長:森下 元康
副理事長:足木 準治 横田 行雄 西脇 義訓

新年度役員 (任期:平成13年4月1日~平成15年3月31日)

会長	神野信郎	再任	中部ガス株式会社 取締役会長
副会長	村上正治	再任	市川交響楽団
理事長	森下元康	再任	豊橋交響楽団
副理事長	足木準治	再任	豊橋交響楽団
"	横田行雄	再任	市川交響楽団
"	西脇義訓	再任	アンサンブル・ロイヤル
理事	石橋正秀	再任	福岡市民オーケストラ
"	伊東 充	新任	札幌フィルハーモニー管弦楽団
"	猪本乙矢	新任	熊本ユースシンフォニーオーケストラ
"	岩本克行	再任	栃木県交響楽団
"	加藤幹雄	再任	山陰フィルハーモニー管弦楽団
"	木田 宏	再任	(財)新国立劇場運営財団 顧問
"	楠瀬幸雄	再任	徳島交響楽団
"	齋藤龍彌	再任	酒田フィルハーモニー管弦楽団
"	土田 浩	新任	宮崎ジュニアオーケストラ
"	遠山一行	再任	(財)日本近代音楽財団 理事長
"	戸本保子	再任	岐響ジュニアオーケストラ
"	服部 聡	再任	習志野フィルハーモニー管弦楽団
"	松尾卓哉	再任	俊友会管弦楽団
"	松田 齊	新任	関西シティフィルハーモニー管弦楽団
監事	高橋憲治	新任	名古屋市民管弦楽団
"	田畑隆久	再任	公認会計士



神野会長



理事会風景

平成13年度 収支予算書

自平成13年4月1日
至平成14年3月31日
(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 収入の部			
1 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	350,000	400,000	50,000
2 入会金・会費収入			
入会金収入	90,000	90,000	0
正会員会費収入	7,950,000	7,950,000	0
賛助会員会費収入	3,500,000	3,160,000	340,000
3 事業収入			
全国大会収入	7,180,000	2,500,000	4,680,000
青少年キャンプ事業収入	3,500,000	3,500,000	0
マスターズキャンプ事業収入	350,000	390,000	40,000
機関紙発行事業収入	1,500,000	1,500,000	0
4 補助金収入			
地方公共団体補助金収入	3,000,000	2,200,000	800,000
民間助成金収入	44,938,000	38,207,000	6,731,000
5 寄付金収入			
寄付金収入	9,300,000	10,140,000	840,000
6 雑収入			
受取利息	8,000	8,000	0
雑収入	380,000	380,000	0
7 特定預金取崩収入			
特定預金取崩収入	2,000,000	0	2,000,000
当期収入合計(A)	84,046,000	70,425,000	13,621,000
前期繰越収支差額	9,535,111	9,456,999	78,112
収入合計(B)	93,581,111	79,881,999	13,699,122
II 支出の部			
1 事業費	(68,500,000)	(52,491,888)	(16,008,112)
臨時雇用賃金	700,000	661,000	39,000
福利厚生費	5,932,000	3,265,000	2,667,000
会議費	5,420,000	3,190,000	2,230,000
旅費交通費	23,172,000	19,441,250	3,730,750
通信運搬費	1,850,000	2,085,000	235,000
消耗品費	2,300,000	2,192,000	108,000
印刷製本費	5,490,000	5,056,500	433,500
賃借料	8,347,600	5,869,600	2,478,000
災害保険料	220,000	120,000	100,000
諸謝金	13,144,433	8,500,328	4,644,105
宣伝広告費	408,000	372,000	36,000
雑費	1,515,967	1,739,210	223,243
2 管理費	(15,220,000)	(15,345,000)	(125,000)
役員報酬	4,800,000	4,800,000	0
給与手当	1,050,000	1,050,000	0
諸謝金・臨時雇用賃金	500,000	500,000	0
福利厚生費	30,000	30,000	0
会議費	1,000,000	1,000,000	0
旅費交通費	2,300,000	2,250,000	50,000
通信運搬費	900,000	900,000	0
消耗品費	800,000	1,100,000	300,000
渉外費	80,000	40,000	40,000
印刷製本費	350,000	250,000	100,000
光熱水料費	220,000	220,000	0
賃借料	2,780,000	2,780,000	0
租税公課	30,000	25,000	5,000
雑費	380,000	400,000	20,000
3 固定資産取得支出	(0)	(320,000)	(320,000)
什器備品購入支出	0	320,000	320,000
4 特定預金支出	(90,000)	(2,090,000)	(2,000,000)
基本財産積立預金支出	90,000	90,000	0
特定預金積立預金支出	0	2,000,000	2,000,000
5 予備費	200,000	100,000	100,000
当期支出合計(C)	84,010,000	70,346,888	13,663,112
当期収支差額(A)-(C)	36,000	78,112	42,112
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,571,111	9,535,111	36,000

NO 第1回日本マスターズオーケストラキャンプ 盛会に終わる

オーケストラ人生 全楽章運動

昨年(2021年)の10月20日～22日の間、千葉県木更津市の「かずさアカデミアホール」において、熟年演奏者を対象に「第1回日本マスターズオーケストラキャンプ」が開催され、全国から約90名が参集した。開催の契機はJAO会員からの声に端を発する。近年各地の会員オーケストラの主力が30代、40代の世代に移行され、しかも大曲志向となってきた中、ゆっくりと交流を深めながらオーケストラ演奏を楽しみたい、ということによる。

準備は横田行雄 JAO 副理事長をはじめとする運営委員によって進められ、また当日も長年の経験を生かした敏腕な運営で見事に乗り切られた。

20日は開会式に続き「室内楽アンサンブルコース」がスタート。6つの室内楽グループが講師に囲まれて研鑽を積み、翌21日には仲間内で披露する「サロンコンサート」も開かれた。21日午後からは「オーケストラコース」がスタートし、森下元康 JAO 理事長の指揮のもと、エネルギーあふれる練習が展開された。研修曲はヴェルディの歌劇「運命の力」序曲と、ブラームスの交響曲第2番で、22日午後には公開演奏会も開催し、70名ほどの聴衆が来場された。

閉会式では、次回第2回の開催(平成33年10月19～21日、同会場)が宣言され、再会を約して散会した。



WFAO News

WFAO会議宣言

2000年11月5日 カラカス(ベネズエラ)

世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)は1998年8月、第26回日本アマチュアオーケストラ連盟の金沢大会で設立され、次の設立宣言が発表された。

『WFAOは青少年・社会人のアマチュア・オーケストラで構成され、地域や国籍を超えた、開かれた組織として1998年8月に設立された。

この組織は、アマチュア・オーケストラによる世界規模の交流や、情報交換を通じて、音楽を愛する人々が相互に高め合い、友情を育む場所を提供する事を目的とする。

1998年8月』

日本の森下元康委員長の主導で委員が選ばれ、ヨーロッパ青少年オーケストラ協会委員長アネケ・ヴァン・ネス(オランダ)、ヨーロッパアマチュアオーケストラ協会委員長ゲルブランド・コッティング(オランダ)、ネブラスカ大学オマハ校音楽名誉教授ポール・トッド(アメリカ)の三人が副委員長となった。

WFAO初のフェスティバルとなった1999年8月のJAO市川大会では森下委員長と副委員長3名、JAO国際交流

委員長の横田行雄氏、またアドバイザーとしてエリック・コロソ氏ら数名が集まり、その席で2000年11月にベネズエラのカラカスで会議を開催することを受諾した。ベネズエラナショナルユースオーケストラの創設者で、WFAO委員でもあるホセ・アントニオ・アブレウ博士が2000年11月1日～5日の会議を主催することとなった。

ほとんどのWFAO委員にとって、今回がベネズエラのみならず、ラテンアメリカへの初めての訪問となった。26年前にアブレウ博士が始めたオーケストラの発展ぶりを見ることができた。この全国規模のプログラムはFESNOJIV(ベネズエラ青少年オーケストラ制度財団)として知られ、社会的、経済的背景に関係なくベネズエラの青少年に学問的にも音楽的にも教育を与えることを追求している。また身体的、精神的ハンディキャップを持った子供達も多く参加している。この訓練を受ける際の制限は全く存在しない。

WFAO委員は素晴らしい青少年ストリングオーケストラから、FESNOJIVの成果であるカラカスのプロのオーケストラ、シモン・ポリバル交響楽団まで、いろいろな演奏を聴いた。そしてフィナーレを飾るのにふさわしいベネズエラ青少年オーケストラの演奏は注目に値する、真に素晴らしいものだった。このオーケストラ制度は世界的レベルであり、世界の多くの地域での音楽教育の模範となり得るといってもよいだろう。

ベネズエラで展開しているプログラムの示唆するもの

は、WFAO委員に大きな衝撃をもたらし、我々はカラカス会議の十分な成果を感じた。

カラカスでの会議を締めくくるにあたり、WFAO委員は次の声明を発表したい。

1. カラカス会議の主催と、この特別な環境でいろいろな経験をさせていただいたことに対して、アブレウ博士、FESNOJIV、ベネズエラにお礼を申し上げたい。
2. WFAOはその設立の主旨を再確認し、さらに音楽に情熱を持った人はすべて、特にオーケストラ関係はだれでも制限なくWFAOの会員として歓迎する。音楽に関する思想、情報、友情、交流活動を共有するための場所を提供する事は我々の目的であることに変わりはない。
3. これから一年にわたり、まだ代表がない地域に呼びかけていくことも目標として決定した。世界的組織として全世界に奉仕するのが我々の目指す所である。例えば他のラテンアメリカ諸国に加盟を求めていくことになったのもカラカス会議の成果である。
4. 個人的にも、ホームページ経由でもコミュニケーションのネットワークの効率を高める。世界の様々な連盟、団体を通じてWFAOの情報を広め、会員を集める。WFAOは加入を希望する全ての者に等しく機会

を与える立場をとることを強調する。

5. アブレウ博士が副委員長に任命されたことに我々は大変満足している。彼のリーダーシップと熱意は我々の組織の大きな特性となる。博士を友人、仲間と呼べることは光栄である。

名古屋大会でさらに多くの仲間たちと出たい。
ここで再び、あたたかくもてなしてくれたアブレウ博士とベネズエラに感謝したい。これから共に築く未来に期待して。

WFAO委員より敬意を込めて。
2000年11月5日カラカスにて



世紀の谷間で

WFAOカラカス会議報告

WFAO委員長 森下 元康

灼熱の子供たち（ベネズエラ、カラカス）

関西空港から13時間、ダラスに一泊しさらに6時間半、カラカス空港にはフェスノジブ(青少年音楽育成財団)の担当官数名が出迎えてくれ、キビキビと通関手続きを済ませてくれた。標高1,000メートルもある首都へ車が登っていく。突然、山腹に宝石箱をぶちまけたようなおびたしい光がはるか山頂まで連なっているのが見えた。車が右に左に走るたびに新しい光が現れる。後で聞けば貧しい人々の家の灯りだそうで、まさに貧者の一灯の群れだったのだ。ほとんどが盗電していて昨年の豪雨での犠牲者はこうした層の人々が大半だったとか。こうした部落は一種の治外法権的な土地柄なのだそうだ。

今回の南米旅行の目的はこのベネズエラにおける青少年音楽活動の実状について視察をすることと、世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)の委員会を開催することであった。アントニオ・アブレウ博士の活動実績はかなり以前から広く知られていたが、今回博士から私に対し、ぜひカラカスで音楽活動の生の声と音を聞いてほしいとの要請があり、9カ国20名がカラカスに招待された。

山腹の光の氾濫に驚いた私だが、実はこのような貧民層の子供たちをオーケストラや合唱で正しい方向に成長させるべくに導いていこうとする目的で設立されたのがフェスノジブで、全国に支所をおいて子供たちに門戸を開いている。そして細々と立ち上がった少数の子供たちが成長し、創設から40年たった今では何千人という子供たちを支える

組織になり、チルドレンオーケストラからユースオーケストラへ、そしてプロオーケストラに至るまでの一貫した生涯音楽活動に成長した。

バッハのカンタータ特集に始まったアブレウ博士の音楽的結晶は、次の日はおそろべき音量と技巧を持った青少年弦楽アンサンブルのチャイコフスキーに続き、夜はサイモン・ポリーバ交響楽団(プロ)のマーラーの3番で我々を圧倒した。コンサートが嵐のような拍手の中で終わると、私を目指して走ってくる青年がいる。何と昨年の市川大会に参加したベラスケス君ではないか、私は抱きついた彼と何度も抱擁をかわした。彼はこの一年でプロになっていたのだ。(彼は今回名古屋大会に参加)

そしていよいよ極めつけのベネズエラ・ナショナル・チルドレン・シンフォニーのコンサートが4日目に開かれた。難曲中の難曲チャイコフスキーの「リミニのフランチェスカ」を皮切りに200名の超絶技巧が始まった。指揮は17歳グスタブ・ドゥダメル君。全曲暗譜での指揮は反射神経の塊であった。最年少7歳から18歳までのこのオーケストラは、居並ぶ欧米のトップを自認する指導者に強烈なインパクトを与えた。私ももちろん例外ではない。子供たちの目の輝き、体から立ち上る躍動感、国旗の色彩をかたどった首掛けと金のヴァイオリンが躍っている。南米という地域への誤った先入観を叩きつぶされた日であった。この子供たちの音の洪水の中で私は日本が今失おうとしているものの影を見たような気がした。

最後の日は海辺へのピクニック。泳げ泳げという仲間を無視して、浜辺の昼寝を楽しむ。会員制の高級クラブのプライベートビーチだから当然なのかもしれないがどこを見ても美女の群れ。目を閉じてうとうとしていたら、突然けたたましく「シニョール!シニョール!」叫ぶ女性の声。ハッと気づくといつの間にか私の足はカリブ海の水に浸っていた。上潮だったのだ。

21世紀を迎えて最初のフェスティバル。名古屋でお会いしましょう！

第29回全国アマチュアオーケストラフェスティバル名古屋大会

国際アマチュアオーケストラフェスティバル2001イン名古屋



21世紀を迎えた最初の全国アマチュアオーケストラフェスティバルは、JAO加盟各団体はもちろん、世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)加盟の各団体からも参加者を募り、「国際アマチュアオーケストラフェスティバル2001イン名古屋」と銘打って、2005年万博を控えた名古屋で開催します。

今年はフェスティバルA、B、ユースオーケストラのほかに、招待オーケストラとして、パーミンガムスクールズ交響楽団がやってまいります。

さらに、新しい取り組みとしまして、海外の一流オーケストラに所属するプレイヤーを講師として招く、楽器別の公開セミナーを開催します。今年は最初の試みとして、木管五重奏の編成でアメリカより講師を招きます。この試みは年々増加するフェスティバル参加者にとって、一人でも多くの方に参加していただける内容をと企画したのですが、JAO会員オーケストラの技術向上、国際的レベルでの情報交換も目的としております。また、これにあわせ、木管五重奏の編成楽器によるワークショップも同時に開催します。これは、各楽器に関する情報をお持ちのメーカー、販売店、各種団体、個人等に出席をお願いし、ニーズはあってもなかなか触れる機会の少ない専門的な情報を参加者に提供しようというものです。

このように盛りだくさんの内容で皆さんの参加をお待ちしております。ぜひ名古屋でお会いしましょう。

開催概要

会場：愛知県芸術劇場コンサートホール 他

期日：8月2日(木)～5日(日)

内容：

フェスティバルA オーケストラ

プロコフィエフ バレエ音楽「ロメオとジュリエット」より

指揮：西本智実

ゲストコンダクトマスター：安永徹

フェスティバルB オーケストラ

プロコフィエフ 交響曲第7番「青春」

指揮：外山雄三

ゲストコンサートマスター：三浦章広

フェスティバルユースオーケストラ

ホルスト 組曲「惑星」

指揮：栗田博文

【招待オーケストラ】パーミンガムスクールズ交響楽団

【歓迎演奏】名古屋青少年交響楽団 / JAO愛知オーケストラ

【木管五重奏の編成楽器による公開セミナー】

【木管五重奏の編成楽器によるワークショップ】

【運営協議会】

【WFAO国際会議】

名古屋大会ホームページ：<http://www.jao.or.jp/nagoya2001/>

E-mail：nagoya2001@jao.or.jp

事務局長通信

事務局長通信

21世紀が明け、はや3ヶ月が経ちました。年明け早々から連盟事務局は「第29回全国アマチュアオーケストラフェスティバル名古屋大会実行委員会」が同居し、活況を呈しています。実行委員会の白井事務局長が出勤(?)するのが午後7時ごろ。夜遅くまで、時には日付が変わるまで、明かりがともっています。また「第17回トヨタ青少年オーケストラキャンプ(宮崎)」の準備のため、傍らで運営委員の面々が、忙しく働いています。と言うわけで事務所はフルタイムで利用されていて嬉しいのですが、片付けても片付けても書類や荷物の山に埋もれています。「 が終わったら片付けよう……」と思いつつはや6年。「 が終

わったら少しは暇になるから……」と同じく、永遠に来る事はありません。

「IT化いいえ我が家は愛低下」これはある生命保険会社が主催するおなじみの「サラリーマン川柳」の入選作ですが、「我が連盟」も提出書類などの電子化を進めたいと思います。第一弾として「平成13年度コンサートガイド」調査票をWeb上のフォームから記入送信できるようにしました。また今後は会員の連絡用メールアドレスにいろいろな通知、書類等を送るようにいたします。総会でもご意見がございましたが、結構毎年同じような書類を提出いただくことがございます。(特にTCC関係など。)少しでも事務方が簡単に短時間で処理出来るよう工夫したいと思います。皆様のご意見をお寄せください。

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

トヨタは、全国で19年800回を数えるトヨタコミュニティコンサートなどアマチュア音楽活動をはじめ、美術、演劇など幅広い分野で地域に根ざした文化活動を応援しています。みんなが、もっとワクワク、ドキドキするために、トヨタは、いっしょに歩んでいきます。

もっと、たくさんさんの感動を応援したい。これもトヨタの願いです。



ワクワクワクワク、
ドキドキドキ。

●トヨタのメセナ(芸術文化活動)の情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます <http://www.toyota.co.jp/mecenat/>